

様式第2号（6関係）

第1回 安曇野市介護保険等運営協議会 会議概要

協議会名 第1回 安曇野市介護保険等運営協議会
2 日 時 平成19年3月5日（月） 午後1時30分から午後3時40分まで
3 会 場 穂高健康支援センター 集団指導室
4 出席者 岡村委員、丸山委員、塚田委員、小野委員、高橋委員、清水委員、波場委員、中野委員、藤岡委員、 小嶋委員、倉科委員、斉藤委員、清沢委員
5 市側出席者 堀田部長、古幡課長、細萱係長、佐藤係長、等々力係長、高齢者介護課 古幡、大輪
6 公開・非公開の別 公開
7 傍聴人 0 人 記者 0 人
8 会議概要作成年月日 19年3月7日

協 議 事 項 等
1. 会議の概要
（1）開 会 古幡高齢者介護課長
（2）あいさつ 堀田健康福祉部長
（3）委嘱書交付
（4）自己紹介
（5）会長・副会長選出（会長：丸山正宣、副会長：藤岡保子）
（6）丸山会長、藤岡副会長あいさつ
（7）会議事項
① 介護保険等運営協議会設置要綱について
② 介護保険事業の実態について
③ 地域包括支援センターの活動状況について
（ア）地域支援事業
・ 介護予防事業
・ 包括的支援事業
・ 任意事業
（イ）介護予防給付事業
④ その他
（8）閉 会
2. 会議の内容
（1）介護保険等運営協議会設置要綱について
事務局：会議資料にて説明 介護保険等の健全かつ円滑な運営を図るとともに、老人保健福祉計画及び介護保険事業計画に関する進捗状況及び評価を実施するため設置したもの。今回は公募により2名の方が市民代表として参画していただいた。
委 員：特に質問なし
（2）介護保険事業の実態について
事務局：介護保険の執行状況について
平成12年の介護保険制度がスタートして以来、各地域にて多少のばらつきはあるが、総人口・高齢者人口・認定者数ともに増加傾向にある。平成12年に21%であった高齢化率も平成18年には23.2%となり、2.2%増となっている。

サービス種類別利用者数について

施設サービス利用者数及び居住サービス利用者の平成18年12月の利用実績と事業計画数を比較すると、施設サービスにおいては施設利用者の内、要介護度が4・5の者の占める割合が70%となっている。居住サービスの利用者においては、要支援1、2及び要介護1において計画と実績の数字に開きがあるが、これは事業計画をたてる時点で、国から示された要介護1から要支援2に移行する見込み割合が実際の認定とは違った等の理由によりばらつきが見られる。

：施設整備の状況について

会議資料に基づき、各地域の事業所数及び18年度の施設整備状況について説明

：平成18年度介護保険利用状況について

平成18年4月から12月までの利用実績（9ヶ月分）を月平均と、事業計画の数値とを比較して説明

委員：特定高齢者が少ないようだが、拡大の方策は何か考えているか。（65歳以上の5%程度）

事務局：国の示した基準が厳しいため現在、国で基準緩和を検討している。基本健康診査など、今後1年間で少し変わってくると考える。

委員：入所時の施設を探すときに、原則家族や身内が行なうことになっているが、独り暮らしや老々介護の場合など、自分で申し込みができない人の入所希望があったとき、市として何らかの方策があるか。市として、統一の基準を考えてほしい。民生委員も努力はしているが、限界がある。

事務局：現在、市として統一した基準はない。今後の検討課題とさせていただきたい。

委員：県では、ホームページで事業所等を公表している。だが、パソコンを使える人はいいが、高齢者がパソコンを操作して見るということは難しい。市として、サービス利用等についてパンフレット等で周知することはできないか。

事務局：検討してみます。

委員：施設入所時には、各施設での判定委員会により入所順位を決めていると承知しているが、たまに順番が飛び、後から申し込んだ年金を多くもらっている人が入所できたケースがあると聞いたことがある。ここで議論する問題ではないが、基準が明確になれば納得する問題だと思う。

(3) 地域包括支援センターの活動状況について

事務局：地域支援事業・介護予防給付事業について

会議資料にて説明 介護予防事業、包括的支援事業、任意事業の平成18年度の経過報告を説明。

委員：任意事業で、介護慰労金支給事業100,000円の内容は。

事務局：要介護が4若しくは5である高齢者と同居し、過去1年間に介護保険サービスを利用しなかった場合で、市県民税が非課税世帯の場合が該当になる。平成18年度は、豊科地域の介護者1件が該当になった。

委員：介護サービスを使わなかった理由は、金銭的な問題なのか。

事務局：しっかり把握していないため、次回の協議会で報告する。

委員：高齢者の中には、自分の家に他人が入ってほしくないと思っている場合もある。

委員：年代で考え方が違うと思うが、「人に見られたくない、家に来てもらいたくない」という人がいることも事実である。

事務局：このような方は、民生委員さんにより把握していただいている。

委員：基本健康診査は、年齢によって内容は違うのか。

事務局：内容は同じである。

委員：受診者の男女の比率を教えてください。

事務局：今は把握していない。次回の協議会で報告する。

(4) その他

事務局：医療制度改革に伴う療養病床の再編について 会議資料にて説明

会長：全体を通して何か質問はあるか。

委員：特になし

閉会